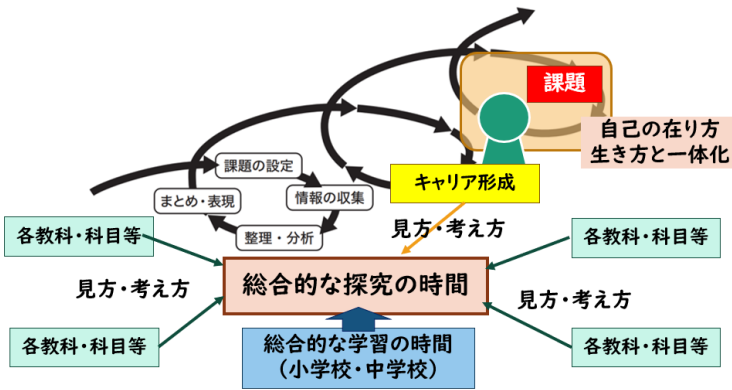


「総探」が変わると、「学校」も変わる!

これからの時代に求められる資質・能力を育む 学びの在り方に関する研究

— 県立高等学校「総合的な探究の時間」の計画と実践から —

なぜ「総合的な探究の時間」(総探)の充実が求められているのか?



- 自己の在り方, 生き方と一体化した課題
- 自己のキャリア形成の方向性と関連
- 教科・科目等を越えた学習の基盤となる資質・能力の育成

「総探」は、
「自ら問いを見だし探究する力」
の育成を目指すための要!

全体計画の作成に向けて

カリキュラム・マネジメントの手法

現状把握シート
学校の教育目標

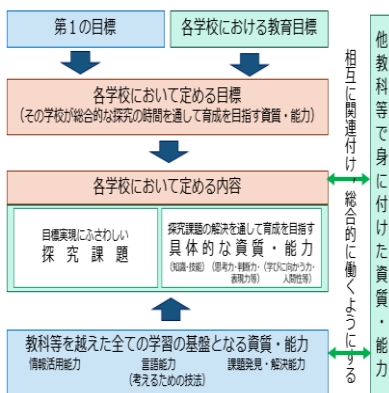
現状把握シート

SWOT分析シート

SWOT分析

全体計画は、
「総探」の
グランドデザイン

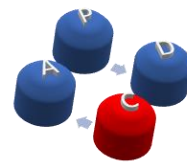
「総合的な探究の時間」の構造イメージ



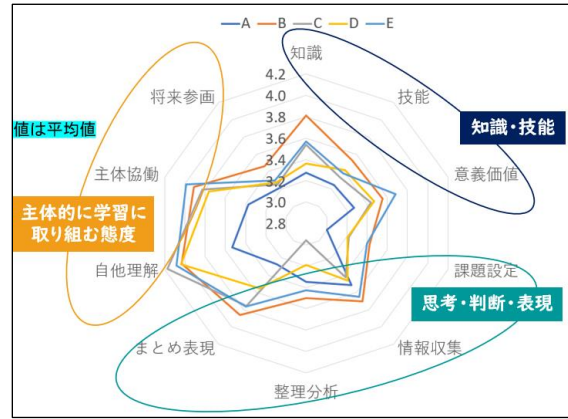
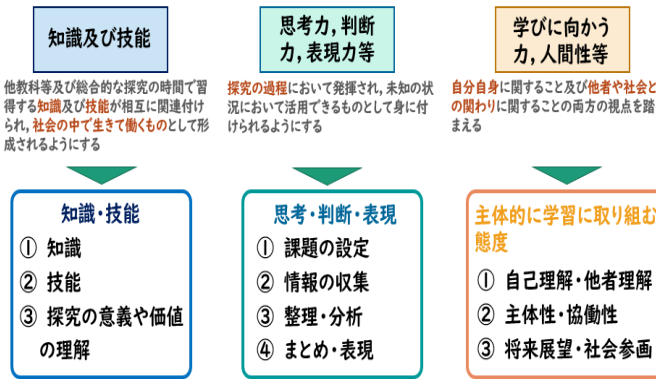
校内検討委員会の構築

- 「総探」の3学年での流れを可視化
- 各校の教育目標, 育成を目指す生徒像を把握
- 担当する教員間での円滑な情報共有

育成を目指す資質・能力の評価について

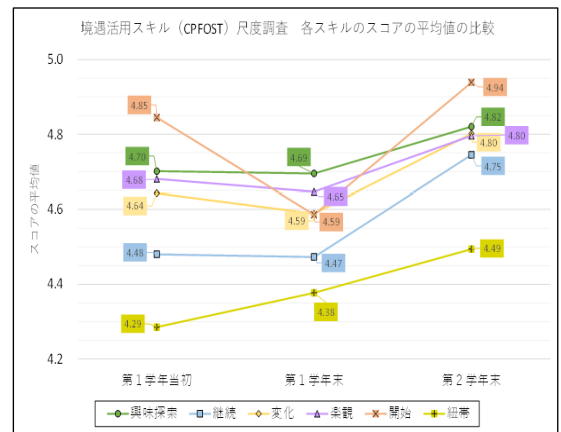
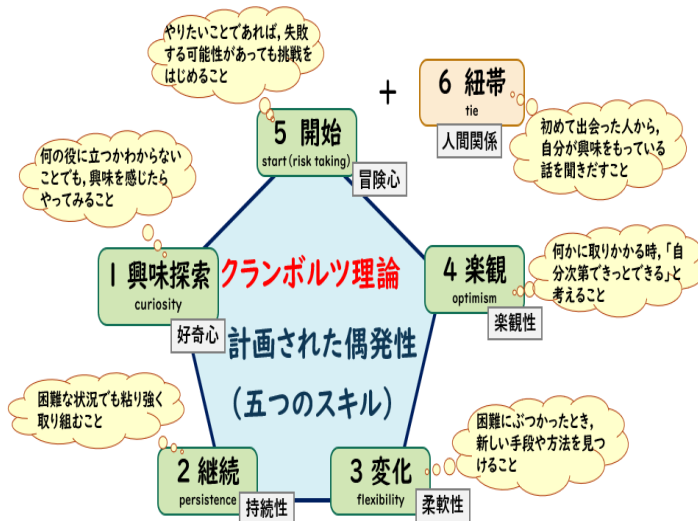


「総探」生徒アンケート



➤ 観点別学習状況の中で、どの項目で成長を感じたり、課題になったりしているかの把握が可能。

クランボルト理論に基づく境遇活用スキル (CPFOST) 調査



➤ 今後社会で活躍する上で必要となる非認知的なスキルの意識調査を行うことで、「総探」の実施内容の評価及び計画の改善に活用。

研究協力校の実践後のさまざまな声

これまで形だけが継承されていた計画を見直すきっかけになり、改めて本校で育てたい生徒像がはっきりした。



試行錯誤の3年間であったが、年ごとによりよい内容になってきている。「総探に正解はない」をモットーに今後も取り組み続けたい。

学校行事に対する生徒の意識も向上してきた。「総探」が変わると、「学校」も変わることを実感している。

